

# 2017年度 第1四半期 決算概要

2017年4月28日

サントリー食品インターナショナル株式会社

**SUNTORY**  
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

稲田でございます。よろしくお願いいたします。

私から2017年度第1四半期決算について、ご説明させていただきます。

# 2017年度 第1四半期実績

## 為替影響を受け減収、営業利益は増加

	2016年 1-3月期	2017年 1-3月期	対前年		
			増減	増減率	為替中立
売上高	3,111 億円	3,105 億円	△6	△0.2%	+1.2%
営業利益	125 億円	161 億円	+36	+28.8%	+33.7%
利益率	4.0%	5.2%			
四半期純利益 (*1)	61 億円	68 億円	+7	+11.6%	+15.9%
EBITDA (*2)	347 億円	381 億円	+34	+9.7%	+12.6%
のれん償却前 四半期純利益 (*3)	135 億円	140 億円	+5	+3.8%	+7.0%

(\*1) 親会社株主に帰属する四半期純利益

(\*2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(\*3) のれん償却前四半期純利益 = 親会社株主に帰属する四半期純利益 + のれん償却額

©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

2

売上高は、3,105億円、営業利益は、161億円、四半期純利益は、68億円となりました。

為替相場が前年同期に比べ円高に推移した影響を受け、売上高は、わずかに減収となりましたが、営業利益、四半期純利益は増益となりました。

各エリアで事業基盤の強化に取り組み、2017年度の目標でもあります、上場来、5期連続の増収増益の達成に向け、順調なスタートを切ることができたと考えております。

# 2017年度 第1四半期実績

## セグメント利益は、日本とアジアが牽引

	売上高	対前年			セグメント利益	対前年		
		増減(億円)	増減率	為替中立		増減(億円)	増減率	為替中立
国内	1,896 億円	△20	△1.0%	-	87 億円	+16	+22.2%	-
国際	1,209 億円	+14	+1.1%	+4.9%	146 億円	+18	+14.3%	+20.3%
欧州	495	△16	△3.2%	+5.1%	53	△5	△8.6%	+0.8%
アジア	423	+25	+6.4%	+7.4%	67	+22	+49.4%	+50.7%
オセアニア	105	+4	+4.1%	△0.4%	13	+4	+39.2%	+43.5%
米州	186	+0	+0.2%	+1.8%	13	△3	△16.0%	△14.5%

©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

3

ここではエリアごとの売上高、セグメント利益を掲載しております。

国内セグメントは、売上高が1.0%減、セグメント利益が22.2%増となりました。

国際セグメントは、売上高が1.1%増、セグメント利益が14.3%増、  
為替中立ベースでは、売上高が4.9%増、セグメント利益が20.3%増でした。

セグメント利益は、日本とアジアが牽引しました。

詳しくは、次のページからご説明させていただきます。

# 国内セグメント 第1四半期実績

## 収益性重視の取組みが奏功し、増益

売上高	増減率	セグメント利益	増減率
1,896 億円	△1.0%	87 億円	+22.2%

- 売上数量は、天然水、BOSS、伊右衛門等の主要ブランドが好調で1%増
- 生産コスト削減や販促費の効率的な投入により増益



まず、国内セグメントです。

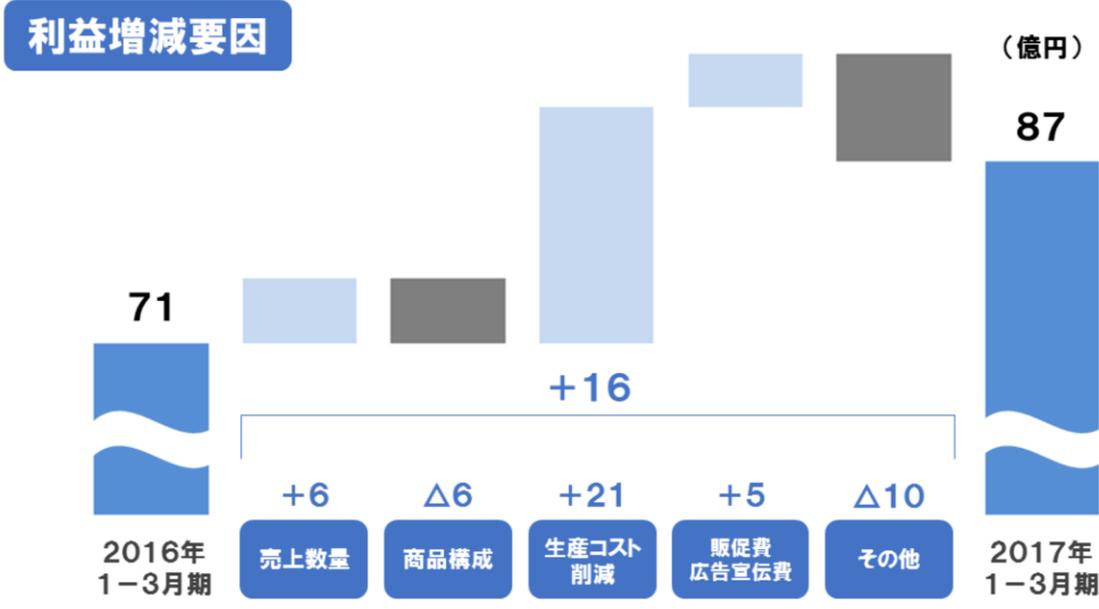
売上高は1.0%減の1,896億円となりました。

売上数量は1%増えましたが、単価の低い大容量商品が伸びたことなどから、売上高はわずかに減収となりました。

セグメント利益は22.2%増の87億円となりました。

生産コスト削減や、販促費の効率的な投入により、増益となりました。

# 国内セグメント 第1四半期実績



©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

第1四半期の国内セグメント利益について、増減要因に沿ってご説明します。

売上数量は、市場並みの1%増となり、6億円の増益要因となりました。

「サントリー天然水」「ボス」「伊右衛門」などの主要ブランドを順調に伸ばすことができました。3月に本体をリニューアルした「伊右衛門」は、計画通りのスタートを切ることができ、第1四半期で10%増と大きく伸ばしました。

商品構成は、6億円の減益要因となりました。

昨年発売した、高単価の「ブラッドオレンジナ」の反動もあり、商品構成が悪化しました。容器別では、500mlペットボトルは微増、大容量ペットボトルは、一桁半ばの伸びとなりました。

生産コスト削減は21億円の増益要因となりました。

コスト改善活動については、20億円の改善となりました。

包材の軽量化や既存設備の効率的な運用を進めました。

また、為替と市況については、合計で1億円の改善となりました。

販促費・広告宣伝費は5億円の増益要因となりました。

大容量ペットボトルの数量は増えてましたが、過度な価格競争に踏み込まず、効率を意識した費用投入をおこないました。

その他は10億円の減益要因となりましたが、人件費や事業税などが増えたためです。

## ① 基幹ブランドの強化

伊右衛門 オランジーナ サントリー  
烏龍茶



3月7日  
リニューアル



3月28日  
リニューアル



5月9日  
リニューアル

## ② 新たな価値を持つ商品の提案

クラフトボス  
ブラック クラフトボス  
ラテ



4月4日  
新発売



6月13日  
新発売

サントリー天然水  
PREMIUM MORNING TEA  
レモン



4月25日  
新発売

©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

6

2月の決算説明会では、詳しくお話しできなかった2017年の商品戦略について、改めてご説明します。

今年は「基幹ブランドの強化」及び「新たな価値提案」に注力する方針です。

「基幹ブランドの強化」では、3月の「伊右衛門」「オランジーナ」に続き、5月9日には「サントリー烏龍茶」のリニューアルを予定しています。いずれも、各ブランドが持っている価値を高めるため、中味・パッケージを大きく進化させました。その価値をお客様に伝えるためのマーケティング活動にも積極的に取り組んで参ります。

「新たな価値提案」については、新商品を2つご紹介します。

一つは、4月4日に発売した「クラフトボス」です。

「仕事をしながら時間をかけてコーヒーを楽しみたい」、「一日中持ち運びたい」という現代のオフィスワーカーに向けて、ペットボトルのボスを開発しました。

もう一つは、4月25日に新発売した「サントリー天然水 PREMIUM MORNING TEA レモン」です。透明なレモンティーという新たなカテゴリーを創出し、新規需要の獲得を目指します。

そして、今後、更なる新商品の発売も計画しております。

これらを武器に、最盛期の活動を強化し、年初に掲げた「市場を上回る成長」を目指します。

# 欧州 第1四半期実績

## フランス、英国が好調、増収増益

売上高	為替中立 増減率	セグメント利益	為替中立 増減率
495 億円	+5.1%	53 億円	+0.8%

売上高 為替中立  
増減率

フランス (※1)	196億円	+7.7%	Orangina、Oasisがともに伸長
英国 (※2)	139億円	+3.8%	Lucozadeが好調に推移
スペイン (※3)	99億円	△3.9%	業務用市場が減速

(※1) フランス、ベルギー、(※2) 英国、アイルランド、(※3) スペイン、ポルトガル



国際セグメントについては、為替中立ベースでご説明します。

まずは欧州です。

売上高は5.1%増、セグメント利益は0.8%増となりました。

昨年苦戦したフランスでは、小容量商品への注力や積極的なプロモーションの展開により、「Orangina」と「Oasis」が伸長し、増収となりました。

英国においても、「Lucozade Sport」の好調が寄与し、増収となりました。

スペインでは、天候不順による業務用市場の減速により、「Schweppes」の販売が前年を下回り、減収となりました。

セグメント利益は、スペインの減収影響や、アフリカなど新興国への投資もあり、微増となりました。

# アジア 第1四半期実績

## 健康食品事業が牽引し、増収増益

売上高	為替中立 増減率	セグメント利益	為替中立 増減率
423 億円	+7.4%	67 億円	+50.7%

	売上高	為替中立 増減率	
ベトナム	163億円	△0.6%	飲料市場は回復傾向
健康食品	140億円	+23.9%	タイでBRAND'S Essence of Chickenが好調



次にアジアです。

売上高は7.4%増、セグメント利益は50.7%増となりました。

ベトナムは、わずかに減収となりましたが、昨年後半から続いていた市場減速が底入れし当社も回復傾向にあります。

健康食品事業は、大幅な増収となりました。

タイで新たなディストリビューターを活用し、店舗への配荷力を高めたことに加え、旧正月向けの出荷の前倒しもあり、「BRAND'S Essence of Chicken」の販売が好調に推移しました。

# オセアニア・米州 第1四半期実績

## 【オセアニア】

### 主力ブランド V の販売が堅調

売上高	為替中立 増減率	セグメント利益	為替中立 増減率
105 億円	△0.4%	13 億円	+43.5%



## 【米州】

### 非炭酸カテゴリーが伸長

売上高	為替中立 増減率	セグメント利益	為替中立 増減率
186 億円	+1.8%	13 億円	△14.5%



最後に、オセアニアと米州です。

オセアニアでは、売上高が、わずかに前年同期を下回りましたが、  
主力のエナジードリンク「V」やスポーツ飲料「Maximus」の販売が堅調でした。

米州では、非炭酸カテゴリーの販売が伸長し、増収となりましたが、  
原料市況の悪化により、減益となりました。

# SUNTORY

## SUNTORY BEVERAGE & FOOD

©2017 SUNTORY BEVERAGE & FOOD LIMITED. All Rights Reserved.

ここまで エリア別にご説明させていただきましたが、  
総じて順調なスタートを切ることができたと考えております。

なお、昨年4月の地震により操業を停止した、サントリー九州熊本工場ですが、  
本日、缶飲料の製造を再開しましたので、ご報告します。  
またペットボトル飲料につきましても5月の製造再開を予定しております。

これから最盛期を迎えますが、年初に掲げた経営方針に沿った活動を継続し、  
年間の営業利益980億円の達成を目指してまいります。

私からの説明は以上です。

# 2017年度 業績予想

	2016年 実績	2017年 予想	対前年		
			増減(億円)	増減率	為替中立
売上高	14,108 億円	14,300 億円	+192	+1.4%	+2.2%
営業利益	935 億円	980 億円	+45	+4.8%	+6.4%
純利益 (*1)	461 億円	470 億円	+9	+2.0%	+3.7%
EBITDA (*2)	1,808 億円	1,860 億円	+52	+2.9%	+4.4%
のれん償却前 純利益 (*3)	747 億円	752 億円	+5	+0.6%	+2.4%

(\*1) 親会社株主に帰属する当期純利益

(\*2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(\*3) のれん償却前純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却額

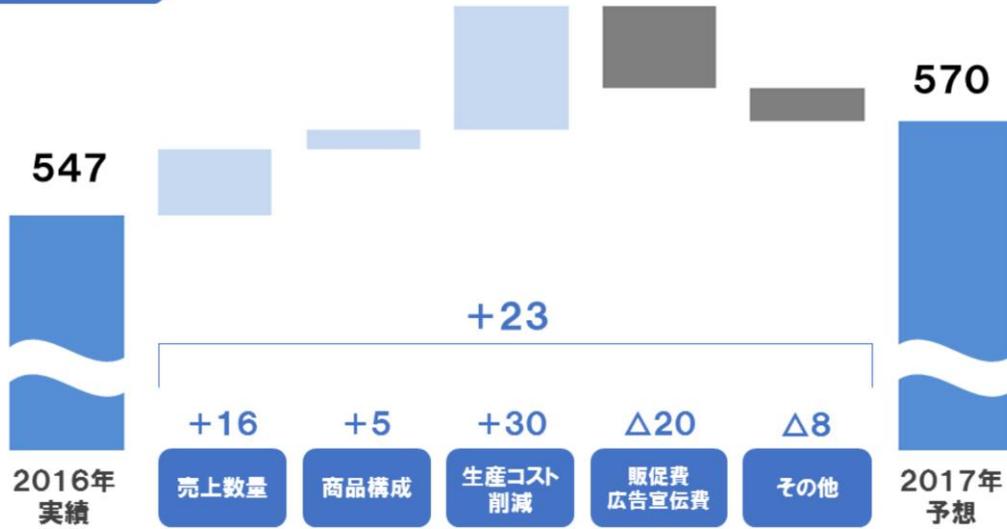
# 2017年度 業績予想(セグメント別)

	売上高	対前年			セグメント利益	対前年		
		増減(億円)	増減率	為替中立		増減(億円)	増減率	為替中立
国内	8,950 億円	+50	+0.6%	-	570 億円	+23	+4.1%	-
国際	5,350 億円	+143	+2.7%	+5.0%	692 億円	+18	+2.6%	+5.8%
欧州	2,250	△44	△1.9%	+3.8%	365	△19	△4.9%	+1.1%
アジア	1,810	+167	+10.1%	+10.1%	178	+35	+24.3%	+22.6%
オセアニア	420	+12	+3.0%	+1.4%	52	+0	+1.0%	+2.0%
米州	870	+8	+0.9%	△0.2%	97	+1	+1.4%	+0.1%

# 国内セグメント 2017年度業績予想

(億円)

## 利益増減要因



# 主要為替レート

(円、期中平均)

	2016年 1-3月	2017年 1-3月	2017年 年間予想
米ドル	115.4	113.6	110
ユーロ	127.1	121.0	115
英ポンド	165.0	140.7	135
シンガポールドル	82.2	80.2	77
ベトナムドン	0.0052	0.0050	0.0048
ニュージーランドドル	76.5	80.9	77
豪ドル	83.3	86.2	82

## 本資料取扱上の注意点

本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。